



かみさと 議会 だより

- ◇6月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇6月定例会一般質問に10人…P 3
- ◇委員会レポート等 ……P13
- ◇9月定例会会期日程等 ……P14



▲神保原公民館 上里芸遊会 詳細はP13へ

第3回6月定例会は6月4日に開会され、議員10名の一般質問と町長提出議案22件他を審議して12日に閉会しました。

6月4日
～12日

第3回 6月 定例会

◆ 条 例 ◆

上里町印鑑条例の一部を改正する条例

要旨 出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律の施行などに伴い、所要の規定整備を行うものです。

◆ 契 約 ◆

工事請負契約の締結

要旨 上里町立賀美小学校校舎棟等改修工事の工事請負契約を締結するものです。

◆ 人 事 ◆

農業委員会委員の任命につき同意を求めること

要旨 現委員の任期満了により、新委員の任命にあたり同意を求めるものです。

副町長の選任

要旨 現副町長の任期満了により、再任を提案するものです。

公平委員会委員の選任

要旨 現委員に欠員が生じたため、新委員の選任について提案するものです。

監査委員の選任

要旨 現委員の任期満了

により、再任の同意を求めるものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

要旨 現委員の任期満了により、新委員の選任について提案するものです。

◆ 令和8年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算(第1号)

概要 歳入歳出それぞれ2122万5千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ119億2202万5千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。
・地域農業構造転換支援事業補助金等
1117万2千円
※介護保険特別会計の補正予算も提出され、原案のとおり可決されました。

◆ 陳 情 ◆

公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

要旨 ①公立中学校における平和教育の政治的中立性に関する基本方針を確認すること②保護者への説明

責任と修学旅行・校外学習の安全管理を徹底すること③過去の修学旅行・平和学習の記録を確認すること④③に基づき懸念が残る事例については、必要な実態把握を行うことを求めるものです。(学校教育の中立性と透明性を守る埼玉県民の会)

委員会採択 不採択

◆ 意見書 ◆

要旨 2件の意見書を国等へ提出することについて審議したものです。

イランへの軍事攻撃による物価高・資材不足から暮らしと営業を守る緊急対策を求める意見書(案)

再審開始決定に対する検察官の抗告を禁止する法改正を求める意見書(案)

議会ライブ配信してます!!

議会映像配信中



本会議のライブ中継を開始しました。上里町議会ホームページもしくは左記QRコードよりお進みください。スマホからでも視聴いただけます!

第3回6月定例会 議案に対する各議員の賛否

議 案 名		赤沼泰成	清水祐子	上野文一	石井慎也	伊藤 寛	金子義則	黛 浩之	飯塚賢治	猪岡 壽	植原育雄	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	戸矢隆光	結 果
上里町印鑑条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業委員会委員の任命につき同意を求めること(議案第29号～第41号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
農業委員会委員の任命につき同意を求めること(議案第42号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
令和8年度	上里町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
副町長の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
公平委員会委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
監査委員の選任		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
固定資産評価審査委員会委員		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情(委員会審査結果:不採択)		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
イランへの軍事攻撃による物価高・資材不足から暮らしと営業を守る緊急対策を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
再審開始決定に対する検察官の抗告を禁止する法改正を求める意見書(案)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対 -除斥)



一般質問

沓澤 幸子

問 総合振興計画策定はひな型段階で説明を

答 丁寧な説明で合意を得ながら進めたい

1 町民参加の町づくりに
ついて

問 4月の選挙は投票率49.8%、山下町長の得票率も48.7%であった。結果の受け止めは。

答 当選は過去8年間の信任と安定継続を求める声と受け止める。これまで以上に広く多くの声に耳を傾けた。第6次総合振興計画策定は、町民参加型を基本方針としている。

問 計画策定は、ひな形の段階で町民説明を行い、関心を持つてもらうことが投票率や住民参加につながるのでは。

答 丁寧な説明を考えている。満足して頂ける形で、合意を得ながら進めたい。

2 町長公約について

問 「防災拠点病院」の誘致は、二次医療圏病床数から可能性はあるのか。国・県・他自治体との協議状況は。

答 令和7年に県と国に本庄地域定住自立圏の圏域内への防災庁誘致と医療機関等

の新規進出を要望した。

問 子育て環境の充実の公約で、猛暑日等に対応した屋内スポーツ施設の充実の内容は。

答 町民体育館にも空調整備を検討し、民間活力を検討したい。

問 学校体育館にクーラーをつけて開放する考えは。

答 小学校は、教育委員会の考えも伺い整備していく。

問 道路整備等の公約は、計画道路が羅列されているが、三田中通り線など各道路計画の課題と優先順位と計画年度目標は。

答 掲げた道路網は、都市計画マスタープランの方針。現在進めているのは藤木戸勝場線と三田中通り線で、三田中通り線は、令和12年度までには国庫補助金の事業採択を受け、実施設計を完了したい。

問 優先道路でありながらテナポが遅すぎないか。県南では、計画から4、5年で貯水施設を造っている。

答 雨水対策をやらないと排水計画ができない。住宅密集地であり、調整池の確保が厳しい。

問 「資源回収等の推進」の具体的内容とは。一番多い容器プラの回収増を。

答 第3次環境基本計画の策定を行っている。環境問題の取り組み加速の1つにごみの減量化がある。容器プラ回収は年2回で良いのか検討したい。



問 神保原駅周辺まちづくり事業と駅橋上化及び南北自由通路整備の具体的な考えは。

答 駅舎は、相応の財政負担を要するため、自由通路の屋根整備を先行したい。

3 子育て環境の改善について

問 小学生の保護者から、洋式トイレが少なく、並ぶ状況があると聞いた。保育所・幼稚園とのギャップ、トイレの試練を無くすため、低学

年部分の早期改善を。

答 教育長 各学校から「特段の支障は生じていない」と報告を受けている。大規模改修の際に行う。

問 熱中症対策として効果がある、ミストシャワー設置を各小・中学校に。

答 教育長 水の操作や機器の管理に労力や注意力が必要。安全面、衛生面、管理面など課題がある。

問 子ども達に大切な夏の戸外あそびを保障するため、木陰や日よけを作り、水遊びができる場所の整備を。

答 安全面、維持管理、インシャルコストなど、現段階では困難だが、イベント的な水遊びの機会創出や他市町村の事例を調査する。





一般質問

赤沼 泰成

問 SNSを活用し選挙公報等を配信してはどうか

答 即時対応が可能 他の事例等も参考に検討する

質問 1 選挙について

問 投票率が低下している現状についてどのように認識しているのか。

答 選挙管理委員会 令和8年4月19日に執行された上里町議会議員一般選挙及び上里町長選挙で、投票率が本町において初めて50%を下回る結果となったことは、選挙管理委員会として重く受け止めている。町の選挙は、町民の皆様が町政に対する意思を示す大切な機会であり、多くの方に投票していただくことは、民主主義の根幹を支える重要な要素であると認識している。

問 地区別や年代別投票率などの分析を行っているのか。またどの層に課題があると認識しているのか。

答 選挙管理委員会 地区別の投票率は抽出することが困難であることから分析等は行っていないが、投票所別で申し上げると大字七本木地域は、他の投票所より低い傾向が見受けられる。

また、年代別の投票率は、特に10代から30代において投票率の低い傾向が見受けられることから、若年層の政治的関心を高める施策が課題であると認識している。

問 現在行っている投票率向上施策は。

答 選挙管理委員会 広報紙への掲載や各行政区へのポスター掲示の依頼に加え、町公式LINEを活用した周知、町内商業施設と連携した場内放送、選挙期間中の懸垂幕の設置、防災行政無線による投票呼びかけなど、幅広い媒体を活用しながら啓発に努めた。

問 現行施策の効果検証を行っているのか。

答 選挙管理委員会 選挙管理委員会では、単独での啓発活動に関する効果検証を行っているが、投票率低下の現状を真摯に受け止め、国や県が実施している意識調査等の結果を参考にしながら、新たな啓発活動の調査研究を実施する。

問 投票率向上のため、曜日や時間限定で商業施設へ期

日前投票所を設置したらどうか。

答 選挙管理委員会 全国各地で実施されており、投票率向上に資する有効手段の一つであるが、投票管理者や立会人、事務従事者の人員確保、二重投票防止のためのシステム導入など技術的な課題や人件費等の財政負担が生じるなど様々な問題があるため、導入について引き続き研究する。

問 町の公式SNSを活用し、選挙公報のデジタル配信、投票方法を動画で配信するのはどうか。

答 選挙管理委員会 選挙公報をデジタル配信は即時対応が可能である。投票方法の動画配信も財政負担を伴わず実施できる内容であることから、他の自治体の事例等も参考にしながら検討する。



質問 2 産業団地について

問 新たな産業団地整備についてどのような検討・調整が行われているのか。

答 最上位計画である総合振興計画及び都市計画マスタープランに掲げた土地利用検討地域の5か所を中心に、産業団地創出の可能性について多角的に検討を重ねている。

問 候補地選定や事業化スケジュールはあるのか。

答 産業団地の造成は、市町村単独での実施は困難であり、県企業局や民間事業者との共同事業とすることが不可欠であり、産業団地造成のめどが立った段階で速やかに策定をする。

問 産業団地について、どのような業種、業態の企業を想定しているのか。

答 用地確保のめどが立った段階で具体化する。まずは産業団地として造成可能であるという前提条件を整えることが先決である。



一般質問

伊藤 覚

問

金窪城址公園をどのように観光地化するのか

答

アンダーツーリズムの考え方を重視したい

1 金窪城址公園の観光地化について

問 町長は4月の選挙期間中に、金窪城址公園でグラウンドゴルフをしていた人たちの前で演説をした際、金窪城址公園を観光地化したいと言ったそうだが、どのように観光地化したいのか。

答 金窪城址公園は、町の貴重な歴史的遺産として、観光振興の柱の1つになり得る重要な資産と位置づけている。史跡としての価値を損なわない範囲で、自然と歴史が調和する散策・歴史学習の場として段階的に魅力を向上させていきたい。

問 こういった地域に対し、極端な観光地化をして、大勢の観光客が突然訪れても、近隣住民への理解の促進や、配慮がされていないと、戸惑うばかりか閑静な地域の観光公害にもなりかねないが。

答 観光地化と言っても、突如として大規模な整備を行うものではなく、アンダーツーリズムの考え方を重視したい。観光客の受入れに

当たっては、地域の方々の生活環境への影響を十分に考慮し、いきなり過度な集客を狙うのではなく、地域の受け入れ態勢を十分に確認しつつ、段階的に情報を発信していく。

2 小・中学校の机について

問 小・中学校において、子どもたちから、タブレットや教科書、筆箱、ノートを置くのに学校の机が狭過ぎるとの声が聞こえてくる。小・中学校の机のサイズは70年以上も前の1952年に定められた旧JIS規格なので、狭い机に学習指導要領改訂後の大きい教科書などを並べるとタブレット置き場に困り、落としてしまうケースもあるのでは。

答 教育長 全て開いたまま机に並べると、それぞれが重なってしまい狭くなるが、授業において、全てを開いたまま学習することは少ない。また、タブレット置き場に困り落とす事例もあったが、数は数台である。目の前の

ワークスペースをどう有効活用するかを子ども自身が考えることも必要な学びの1つと考えている。

問 あるメーカーの落下防止機能つき拡張デスクは、全国1724の自治体の約35%に当たる614の自治体で導入されているが、上里町の小・中学校にも導入してみてもどうか。

答 教育長 落下防止機能つき拡張デスクを全部の机につけることで、教室全体のスペースが狭くなる。今後、先行事例等を研究していく。

3 上里町デマンド交通の児童の利用について

問 前回の私の質問の答弁で、下校時における上里町デマンド交通の児童利用には、保険や児童の安全面の確保が難しい。利用料金を支払うためには、学校に現金を持参しなければならず、トラブル回避の観点からも問題がある。それと、校長から意見を募ったところ、児童の安全を考えると、下校時にデマンド交通の利用

を認めるのは難しいとの回答であったが、猛暑時、通学路にクールオアシスのない児童や遠距離下校等の児童に対し、7月や9月の夏季に限定するなどして、デマンド交通の利用を認めるなどの対応はできないのか。

答 教育長 猛暑時は、保護者の判断でデマンド交通を利用するということであれば、拒むことはできないが、その旨を学校に伝えていただく必要がある。また、通学路にクールオアシスのない児童への対応は、各家庭の状況に応じて日傘や冷感タオル、扇子などの冷感グッズを用意していただくものと認識している。

問 WGBT指数が下がるまで、エアコンの効いた教室で待機することは可能か。

答 教育長 教室等の冷えているところで下校を遅らせる対応もできると思う。



一般質問

飯塚 賢治



問 避難所における環境改善は周知を

答 効果的な情報の発信に努める

1 避難所の環境改善について

問 政府は、被災者が尊厳ある生活を営む最低基準を示すスファイア基準を取り入れているが、町では取り組む考えは。

答 スファイア基準を1つの重要な目指すべき目標として捉え、既存避難所のレイアウト設定や消耗品を含め、仮設トイレ等の備蓄強化、また、避難所運営訓練等を通じて、段階的に環境改善をはかる検討を進める。

問 政府が行う事前登録制度は、積極的に取り組むべきだと考えるが、町長の見解は。

答 本制度の詳細を確認したところ、被災自治体が個別に事前登録を行う必要はないものとなっている。災害対応車両は、必要とする場合、専用検索システムにて車両所有者等を個別に調整を行う仕組みとなっており、本システムのID・パスワードは、既に取得済みである。有事の際は、本制度を積極的に活用していく。

問 受援計画は、職員の方へ計画内容の周知や訓練の実施による受援計画の実効性の確保が重要である。町の取組は。

答 詳細な役割や流れをマニュアル化した資料は、策定していない。受援に特化した職員に対する防災訓練についても実施に至っていない。庁内研修や防災訓練を通じて、マニュアルの整備や、より実践的・効果的な訓練の実施などについて順次検討していく。受援体制の充実は、被災された町民の皆様への支援スピードに直結する。計画の実効性の確保に向け、支援を受ける側としても準備を整えていく。

問 避難所における環境改善は、事例に基づいて内容が変わる。避難所の開設から1人当たりのスペースや発熱がある方、感染症対策、トイレ、入浴施設、ペットは連れて行けるのか等、分かりやすく作成し、町民の皆様への周知を願いたい。

答 避難所での生活に直結する項目については、分かりやすい整理が必要である。

今後は、これらの情報を町民の皆様が平時から確認できるよう、また、一人一人が自分事として捉えていただけるよう、効果的な情報の発信に努める。

2 子育て世代の不安を取り除く体制づくりについて

問 深谷市では、小児科オンライン診療が今年4月19日から始まった。日曜日、祝日の午後6時から午後9時まで、役所の3階で専用アプリによる事前予約制で、常駐の看護師が必要に応じて専用デバイスを用いて診察を補助し、必要なデータの計測や、喉や幹部の撮影を実施、それを遠隔地の小児科医がデータ、写真を基に診断し、必要に応じて処方箋を発行する。町でも、こむぎつつプラザ内でのこの事業が行われたとすれば、子育て世帯の安心に繋がるのでは。

答 近隣自治体のオンライン相談・診察を導入した経緯や効果などの情報を収集し、まずはオンライン相談について検討していく。

3 带状疱疹ワクチン定期接種について

問 町では、令和6年4月1日から带状疱疹任意予防接種費用の一部助成を開始。対象は50歳以上で希望する方に行ってきた。これは、今年の3月31日で終了。令和8年度の対象者は、国の定期接種として65歳から5歳置きに100歳になる方までとなっている。定期接種はそれで良いが、なぜ任意接種の一部助成を打ち切ってしまったのか。

答 国の方針として、定期接種という公的な枠組みが整い、定期接種で定める接種年齢が、発症のピークとなる時期に重症化の予防効果を最も期待できるなどを総合的に判断し、町独自の任意接種の助成は、本年3月31日で終了した。

※その他、都会の若者の誘致についてと電子機器の新しい選択肢についても質問しました。



一般質問

石井 慎也

問 機能別消防団員の導入を検討してはどうか

答 協議を行った上で検討を進めて行く

1 屋内スポーツ施設について

問 選挙の際に町長より「屋内スポーツ施設の検討をしていく」との発言があったが、上里町公共施設再配置・維持保全計画があるため新設はできません。民間活力を導入することも厳しいのではないかと考えるが、どのような施設をイメージし、検討を行っていくのか。

答 屋内スポーツの充実については、既存の公共施設の活用に加え、民間の活力を生かした取組を検討していく。

問 既存の施設を活用していく、維持管理を行っていくとの考えであれば、屋内スポーツ施設の検討という表現は誤解を招いてしまうのではないか。

答 屋内スポーツ施設というのは新しい取組であり、余り選択肢を狭めないであらゆる可能性を検討、模索していくとの意味で公約に掲げた。

問 既存の施設である児童

館を休日も開館し、子供たちがいつでも運動できるようにしてはどうか。

答 土曜日は七本木児童館、神保原児童館を開館しており、日曜日、祝日は全館休館となっている。以前は5館とも土曜日に開館していたが、利用者数の実態を精査し、令和3年度より2館となっている。

問 令和3年より年数が経っているのを、改めて意向調査等を行っても良いのではないか。

答 利用者の意向調査は、日頃から行っている。意向を聞きながら進めていきたい。



既存のスポーツ施設である町民体育館

2 上武連携構想について

問 以前の一般質問の際に、「基本構想もまとまっていない段階ですのでお示しするのは早いと思っています」と答えていたが、1月に町長が行った町政報告会では、滑走路の図面を映し説明をしていたが、どうなっているのか。

答 町政報告会は、私的な報告会ですので、そこで構想をこんなイメージですよということを出したので、議員が触れることは違うのではないかと思っている。

問 昨年、「国と少し具体的な協議を始めたところですよ」と言っていたが、この空港の件について町民の声を聞く機会は作られておりません。町民の反対が多ければ協議を続けていくことは困難だと考える。意見交換の場を設けてはどうか。

答 大きな事業を検討する過程において、町民の皆様の声をお聞きすることの重要性は強く認識している。そ

の時々との進捗や検討状況を共有し、対話の場を設けるなど、皆様のご理解を得ながら進めてまいりたい。

3 消防団について

問 消防団のOBを団員とする機能別消防団員の導入を検討してはどうか。

答 報酬・各種手当、制服等の整備といった制度設計、関係法令との整合性、指揮命令系統の明確化など整理すべき事項が数多くあるほか、OBの方々への意向の確認も必要と考える。

問 消防団員の定数は時代により変化してきた歴史がある。町の若年層人口が減少していく中で、現在の定数を維持していくのか削減するのか、町の考えは。

答 町側だけで方針を決定するのではなく、本部役員会議の場において今後の組織体制について十分な協議を重ねていく必要があると考える。



一般質問

清水 祐子

問 障害者通院等での家族送迎も車両燃料助成を

答 他自治体を参考に前向きに検討

質問 1 地域共生社会の実現に向けた福祉支援の充実について

問 障害児・者の学校卒業後の支援、「18歳の壁」への対応、就労・日中活動・社会参加、ひきこもりや社会的孤立への支援体制と課題は。

答 在学中から学校や相談支援事業所等と連携し、卒業後は生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型・B型等へ切れ目なく移行できるような支援している。利用時間や支援内容の変化が、本人の生活や保護者の就労継続に影響することが課題。就労支援センターやハローワークと連携し、福祉タクシー利用券や自動車燃料費助成等で社会参加を支援している。ひきこもり相談は町民福祉課で受け、県や保健所等と連携しているが、長期化・高齢化、居場所の確保が課題である。

問 本人が運転できず、保護者が通院や通所を担う場合、保護者等が運転する車両も自動車燃料費助成の対象に

できないか。

答 家族の時間的・精神的・経済的負担の軽減に一定の意義がある。対象範囲や利用実態、財政面、他制度との均衡を整理し、他自治体の事例も参考に前向きに検討する。

質問 2 豪雨災害に備えた浸水・冠水対策について

問 浸水・冠水リスクの把握、排水機能の強化や雨水対策、住民への防災・避難情報の周知は。

答 浸水想定区域図等に基づき作成したハザードマップや、雨水出水浸水想定区域図で危険箇所を把握している。町内を46排水区に分け、未整備箇所は道路側溝や水路で排水しているが、既存施設だけでは解消できない箇所もある。雨水管等の整備を検討し、浸水被害の大きい三田中通り線周辺を優先的に整備する。防災行政無線、町ホームページ、防災情報メール、公式LINE、架電サービス等で情報を発信している。

質問 3 公共施設アセットマネジメント推進事業におけるサウンディング型市場調査について

問 旧保健センター、旧老人福祉センター、中央保育園跡地の参加事業者数、提案内容、市場性や課題、周知・募集方法は。

答 参加は1社。屋内型遊び場を併設し、子どもから高齢者まで利用できる公園・交流拠点の提案があった。町と民間の連携や収益事業と組み合わせた運営が課題。町ホームページ、日本PFI・PPP協会のデータベース、入札情報サービスで周知した。今後はスマートインターチェンジからのアクセスの良さ、用途の限定、地元企業へのPRを検討する。

問 質問書の提出と現地見学の参加状況は。

答 質問書は2社、現地見学も2社が参加し、そのうち1社がサウンディングに参加した。

問 実施方法、対話時間、参加事業者の概要は。

答 4月23日に役場庁舎内で対面により約1時間実施した。参加者は町との関わりがある全国展開の企業である。

問 参加事業者が承諾した場合、企業名等を公表できないか。

答 企業の利益に関わるため慎重に扱う必要があるが、承諾があれば公表できる。他自治体の対応も研究する。



旧保健センター



一般質問

高橋 仁

問 投票率の向上について

答 住民の皆様には選挙の重要性を伝え啓発に一層努める

質問 1 山下町長の公約と取組について

問 新たな産業団地の形成について。

答 埼玉県企業誘致戦略と連携を図り、本町が位置する県北地域への企業誘致を重点的に進めるよう、県に要望している。

問 埼玉版スーパー・シティプロジェクトについて。

答 駅北まちづくりや上里サービスエリア周辺地区の計画が、県の行うスーパー・シティプロジェクトに認定されている。

問 効率的な運営と収入源確保について。

答 財政の健全化と安定を図るため、より有利な財源の確保に向け、関係機関との連携を密にしている。

質問 2 令和8年4月19日執行の上里町議会議員一般選挙・上里町長選挙について

問 過去最低の投票率について。

答 選挙管理委員長 社会環境や生活様式の変化など



様々な要因が重なり、投票行動につながりにくい状況が生じているものと認識している。今回、初めて50%（49・79%）を下回る結果となったことに、選挙管理委員会としても重く受け止めている。平成10年は、定数が20名で議員選挙の投票率は、78・5%であり、28年間で有権者数は3082名増えているが、投票率は選挙ごとに減少傾向に推移しており、議員選挙は28・71ポイントも減少している。選挙は、町政に対する意思を示す大切な機会であり、民主主義の根幹を支える重要な要素であると認識している。従来型の周知方法だ

質問 3 神流リバーサイドロードについて

問 現状と課題について。

答 全線開通により利便性は向上し、一定の交通量も確保できている。さらなる利便性向上のための道路網の整備として、三田久保原線延伸の構想道路が重要となる。

問 道路網づくりについて。

答 三田久保原線、駅南大通り線や古新田四ツ谷線など、計画的な事業推進を図っていききたい。

問 道路周辺の開発について。

答 交通網の充実、周辺地域への誘客促進や観光拠点としての機能強化に直結し、地域経済のさらなる活性化に大きく寄与することが期待される。

質問 4 農業振興について



問 稼げる力（農業）について。
答 国は令和7年4月に食料・農業・農村基本計画を策定した。計画では、令和12年までの5年間で農業構造転換集中対策期間と定め、農地の大区画化、共同利用施設の再編・集約、スマート農業技術の導入の加速化に加え、輸出産地の育成が掲げられた。稼げる農業の実現には、貯蔵・冷蔵施設や加工施設、物流網の整備など、生産から加工、流通、消費に至るまでの、食のサプライチェーンを構築する必要がある。地域農業の維持、発展を共に担っていただける民間企業との連携体制が重要であり、不可欠なものであると考えている。



一般質問

新井 實

問 安心して暮らせる町づくりについて

答 防犯カメラの設置は危険箇所から検討

1 「ラーケーション」の
制度運営について

問 「ラーケーション」※
1」の制度運営を通して、
新たな先行的な学校教育の
形としてこの制度を定着さ
せることについて。

答 教育長 深谷市のラー
ケーション制度も、今後の
動向に注目している。埼玉
県議会においても本制度に
ついて議論されており、他
自治体の状況を踏まえて注
視していく。

2 図書館の活性化について

問 図書館の活性化におけ
る機能充実へ人的・財政的
支援について。

答 教育長 公立図書館に
ついては、令和7年度から令
和11年度までの指定管理者
の指定の際に、図書購入費に
ついて、図書単価も近年の物
価高の影響を受けているこ
とから、増額して指定管理料
を設定している。また、学校
図書館の学校図書館図書標
準の達成割合だが、小学校5
校の平均は約145%、中学校の

平均は約135%で、標準蔵書数
を上回っている。

3 安全・安心して暮らせ
る町づくりについて

問 神保原駅北停車場線か
ら旧中山道までの間に防犯
カメラを設置していただき
たいことについて。

答 神保原駅通りにおける
防犯カメラの設置について
は、本庄警察署と連携し、町
における犯罪発生状況や危
険箇所を把握し、実施の可否
について検討する。

4 救急搬送の逼迫について

問 救急医療を守るため、軽
症者による安易な救急車の
利用を抑制できるかについ
て。

答 児玉地区の令和7年の
程度別搬送人数は、軽症の割
合が33.4%と前年より3%
減少する一方、中等症の割合
が51.2%と前年より3.8%
増加している。このことか
ら、救命を必要とする方の利
用を抑制することがないよう
にするために、今後の実績
の推移を確認し、選定療養費

の導入については慎重に検
討する必要がある。

5 少子化と保育について

問 国が4月から始めたこ
ども誰でも通園制度の運営
について。

答 国が4月から始めたこ
ども誰でも通園制度の運営
について、本町における本
業の利用時間の上限は、国
の基準に基づき月10時間ま
でとしている。また、町内の
実施施設は、町立空の杜保育
園の1園となっている。受入
れ定員は8人で、一時預かり
担当職員を中心とした既存
職員により対応している。利
用可能時間帯は、午前9時か
ら正午までの午前中として
いる。利用料は1時間当たり
300円、所得状況等に応じ
た減免措置を設けている。



6 再エネ加速への地域主
導政策について

問 再エネ加速への地域主
導政策における地域オー
ナーシップ制度導入及びそ
の候補地について。

答 地域主導による再生可
能エネルギーの導入は、本町
における脱炭素社会の実現
に向けた政策の面でも、極め
て重要な課題であると認識
している。その手法の一つと
して、地域住民や地元企業
が事業主体、オーナーになる
地域オーナーシップ方式に
よる太陽光などの再生可能
エネルギーを地域内で循環
させる取組は、単なるエネル
ギー供給源としての設置に
とどまらず、地域経済の活性
化や防災力の向上、ひいては
町民の皆様の合意形成を促
進する上で極めて有効な手
法の一つと捉えている。

※ラーケーションとは：..
ラーニング（学習）とバケー
ション（休暇）を組み合わ
せた造語。児童生徒が保護
者等とともに、平日に校外
で体験や探究の学びをする
ために学校を休んだ場合、
欠席にならない制度。



一般質問

金子 義則

問 七本木地区における公共整備計画について

答 三田中通り線周辺を優先的に整備していく

1 上里町の児童・生徒に
対する支援について

問 上里東小学校の校庭のトイレが、何年も前から使えない状態にあり、校庭利用者が困っているが、修理していただくことはできないでしょうか。町長の見解は。

答 東小の保護者から、校庭のトイレについて要望があった。その後、教育長と一緒に現地確認をした。議員もご存知かと思うが、男子トイレのほうは小便器はこのまま使えるが、女子トイレのほうは非常に傷んでいる状態である。できれば今年度中に、どのくらいの費用でできるか、まず見積りを取り、その費用を捻出できるか、また今年度できるかどうかの判断をし、早急に対応できるように考えていきたい。

○給食費無償化に伴う非喫食者の対応について

問 やむを得ない事情により恒久的に給食を食べることができない対象者に、文部科学大臣決定事項とし、

学校給食費相当額の金銭給付、または現物給付の規定が示されている。上里町教育委員会の対応は。

答 教育長 公立小学校の非喫食者については、埼玉県市町村給食費負担軽減交付金交付要綱においても同様の決定がなされていることから、町では、国・県の交付金対象となる公立小学校の非喫食者について相当の給付を行うよう、今後要綱整備等を進める予定である。

○漢字検定助成の新設について

問 漢字検定は、小学1年生から取組が可能で、検定合格により低学年から成功体験をさせることで成長でき、勉強への意欲がわくと思う。導入の検討をさせていただきたい。

答 教育長 ICT機器に触れることが多くなり、子供達が自ら漢字を読み書きする機会が減少していると思う。このような状況の中、漢字検定の受験は、児童生徒が漢字に対して関心を持つきっかけとなると考える

が、漢字検定助成の新設については、保護者の声や国や県の動向を参考にしながら、今後とも検討を続けていく。

2 公共整備計画について

問 三田・三軒・京塚地区における雨水対策と各地区排水組合についての今後の対応は。

答 雨水浸水により生活排水が溢水することの解消について、町の雨水事業では生活排水を目的とした施設の整備は致しません。しかし、雨水対策をすることにより溢水することは抑制されると考える。特に浸水被害が大きい三田中通り線周辺を優先的に整備していく考えである。各地区排水組合については、今回議員より御質問をいただき、排水組合で抱える多くの問題や課題を認識できたところである。町としては、現状の問題や課題について意見交換を行うことが必要と思われる。

3 右折信号設置について

問 上里東小学校北交差点の右折信号設置要望の進展は。

答 本交差点は、小学校に近接し、町民の生活道路及び通勤道路であり、県道が交わる主要交差点である。町としては、引き続きあらゆる機会を捉えて本庄警察署に働きかけていく。

れる。直ちに方向性が定まらなくても、定期的に進めることも重要である。今後町も協力し、協働で解決策の検討が進められるよう意見交換をお願いしたい。

問 神保原駅の橋上化や自由通路の今後の対応について。

答 鉄道事業者であるJR東日本とは、今後の方針について情報共有を図っている。先月もJR東日本高崎支社を訪問し、自由通路の改修に関し協力を求めている。今後も駅利用者の利便性向上に努めていく。



一般質問

猪岡 壽

問 町の財政状態について町民に知らせることが必要では

答 今後とも分かりやすい財政情報の公表に努める

質問 1
町の財政状態について町民に知らせることが必要であるが

問 令和6年度決算については、一般会計は6億4千万円の黒字であった。ただし、特別会計3会計と下水道会計は、一般会計からの繰入金で資金を補充して黒字決算となったとの報告が広報でされた。最近では、町の財務状態がよくないといううわさが出ているようである。そのため、財務内容の現状について、令和6年度の総資産は、421億3千5百万円あり、負債は82億5千3百万円で、差引すると純資産は338億8千2百万である。また、流動資産の現金預金は、令和5年度より5千万円増えて8億5千万円となっている。近いうちに現金化される未収入金も2億3千5百万円あり、当面資金繰りは問題ないと私は思っている。また、町の財政力指数(※2)は、埼

玉県の23町村中5位であり、0.734の数値である。現金預金も増えている。資産もあるし、財政力指数は埼玉県の23町村中5位であるので、財政状況は順調であると思うが、町長の見解は。

答 町民の皆様には、町の財政状況をご理解いただくため、広報やホームページを通じて分かりやすい財政情報の公表に努めている。公表している財政情報の中に健全化判断比率と言う指数があるが、これは自治体の財政健全度を判断するための指数だが、借金の返済が大きいなど、将来にわたる大きな負担が見込まれる自治体ほどその数値が高く、財政状況の悪化を示すものとなっている。上里町の健全化判断比率は、財政状況の悪化を示す基準を大きく下回っており、将来的な負担において、健全な状況にあると評価されるものである。今後とも分かりやすい財政情報の公表に努めている。

質問 2
令和8年度水道事業と下水道事業の赤字予算について



問 令和8年度の水道事業会計と下水道事業会計の赤字予算について、民間の事業予算で赤字予算を組むことは考えられないことであり、株主総会で否決されることは間違いありません。私も予算審議のときに質問しましたが、水道事業については、物価高騰対策として水道基本料金の減免に要する費用として1億67万3千円の経費を計上したため、赤字経営となっているが、これはいずれ国から還元され問題ないが、下水道事業については、毎年一般会計からの繰入金で賄っている状況で、

令和8年度の予算でも収益2億9千6百万円に対し、歳出3億8百万円で、経常赤字1千2百万円である。下水道事業は赤字予算となり問題であるが、町長の見解は。

答 下水道事業については、計画区域内の新設工事を推進しており、計画的かつ戦略的な整備を推進することで、接続戸数を増やし、繰入金の減少に努めていく。また、令和8年度下水道管渠整備費の国の補助率は、前年度対比で1ポイント上昇した。今後も全国町村下水道推進協議会を通じて、国に補助金の増額要望をしていきたい。

※2 財政力指数とは…地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で割った数値の過去3年間の平均値。1に近いほど財源に余裕があるとされ、1を上回れば国から地方交付税交付金が支給されない。

文教厚生常任委員会

委員会
レポート

6月30日(火) 7月1日(水) 学校訪問

文教厚生常任委員会では、6月30日・7月1日の2日間にわたり、町内7校の小・中学校を訪問しました。各学校で校長から学校運営や教育活動の説明を受け、校内を見学し、日頃の取組や現場の課題を伺いました。説明や見学を通して、一人ひとりの特性や状況に応じたきめ細かな支援が行われていることを確認しました。特別支援学級では、パーテーションを使ったクールダウンスペースを設けるなど、安心して学べる環境づくりが進められていました。また、教室を離れてしまう児童への対応など手厚い配慮が求められる場面もありますが、学校全体で情報を共有し、連携して支援していました。長期欠席の児童・生徒には、学校・家庭・関係機関が連携し、それぞれの状況に応じた支援を継続していると伺いました。学校とのつながりを大切にしながら、一人ひとりに寄り添う支援の重要性を改めて認識しました。

生活環境の面では、保健室が体調不良への対応だけでなく、悩みや不安を安心して相談できる場としての役割も果たしていました。また、女子トイレへの生理

用品の設置など、安心して学校生活を送るための配慮が進められ、多くの学校で清潔な環境が保たれていました。施設面では、換気対策など改善が望まれる箇所も見受けられました。小学校の体育館では空調設備が未整備であり、近年の厳しい暑さを踏まえると、児童・生徒の安全確保や学習環境の充実に加え、災害時の避難所機能を確保するためにも、早期整備が必要であると感じました。

教員不足をはじめ、学校現場だけでは解決が難しい課題については、町や教育委員会、関係機関が一体となって取り組んでいくことが不可欠です。

今回の訪問で、資料だけでは把握できない学校現場の工夫や課題を直接確認することができました。今後も現場の声に耳を傾け、子どもたちが安心して学び、健やかに成長できる教育環境の充実に努めてまいります。

清水 祐子



児玉郡町議会議員 前期研修会

日付: 7月29日(水) 会場: 上里町役場

演題: 「予算・決算審査のポイント」

講師: 議会事務局実務研究会会員・市川市職員

野村 憲一氏

児玉郡町議会議長会主催による令和8年度児玉郡町議会議員前期研修会が、7月29日(水)に上里町役場大会議室で開催されました。研修会では、議会事務局実務研究会会員の市川市職員野村憲一氏を講師に迎え、次の通り研修会が開催されました。

1 予算・決算審査のスタンス

執行機関に対する議会の機能⇒行政監視機能(効率的に行われているかどうか)

2 予算審査のポイント

予算案の構造を知り、数字のその下を掘り起こすことを意識する

3 決算審査のポイント

認定の可否には決算内容に対する法的効果はないが、不認定の場合は長の政治的責任が問われる(「必要と認める措置」の議会への報告・公表)

4 予算・決算案に対する議会の意思表示

●議会の意思表示⇒修正案⇒議案(長提出) 自体を直すので、強力(法的拘束力)

●附帯決議⇒可決議案に「注文」を出すのに議決を伴う点で一定の効果が期待できる

植原 育雄



今号の表紙 上里芸遊会

毎月第2・第4木曜日、午前10時～11時半に神保原公民館で2005年頃から活動しています。日本の伝統芸能を守りながら練習し、高齢者施設・小学校等を訪問し、伝統芸能を披露しています。

お知らせ

○かみさと議会だより 111号の訂正について

・P12 議員の名前 新井 寛→新井 實

議会日誌

6月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告、一般質問
- 5日 一般質問
- 8日 全員協議会
- 9日 議案審議（条例改正、補正予算等）
- 11日 文教厚生常任委員会
- 12日 全員協議会、閉会
- 29日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 30日 文教厚生常任委員会による学校訪問

7月

- 1日 文教厚生常任委員会による学校訪問
- 16日 議会広報広聴常任委員会
- 29日 児玉郡町議会議長会 前期研修会

8月

- 5日 全員協議会、臨時会、議会広報広聴常任委員会
- 7日 利根川治水同盟治水大会
- 17日 議会運営委員会、本庄上里学校給食議会



令和8年7月28日に発生した熊本地震により被災された皆様、心よりお見舞い申し上げます。亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。災害は決して他人事ではなく、地域の備えの重要性が改めて問われています。厳しい暑

さが続いた夏も終盤を迎えましたが、物価高騰やエネルギー価格の上昇など、私たちの暮らしを取り巻く環境は一層厳しさを増しています。議会だよりは議会の動きを正確に伝え、皆様の声を町政へつなぐ役割を担います。分かりやすく伝わる紙面づくりに努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

赤沼泰成

- 議会広報広聴常任委員会
- 委員長 植原 育雄
 - 副委員長 赤沼 泰成
 - 委員 清水 祐子
 - 委員 上野 文一
 - 委員 石井 慎也
 - 委員 金子 義則
 - 委員 伊藤 覚

第5回9月定例会の日程(予定)

日 月 火 水 木 金 土

		9/1	2	3	4	5
					(開会) 一般質問	
6	7	8	9	10	11	12
	一般質問	一般質問		議案審議	議案審議	
13	14	15	16	17	18	19
		特別委員会	特別委員会		特別委員会	
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日	特別委員会	特別委員会	
27	28	29	30	10/1	2	3
	特別委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	(閉会) 報告・採決	

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第5回9月定例会一般質問一覧

氏 名	質 問 事 項
4日(金)	高橋 仁 ① 神保原駅周辺の開発について ② 町道223号線について ③ 農業振興について
	清水祐子 ① 子ども・若者が学校外で過ごす環境の整備・充実について ② 「交通弱者」という表現の見直しについて ③ 包括連携協定について ④ 埼玉県最北端の地・上里町大字毘沙吐について
	植原育雄 ① 防災拠点病院について ② 防災拠点病院、基地病院・救命センターとドクターヘリについて ③ コンパクトシティと公共用地等の(跡地)利用について ④ デジタル教科書について
	沓澤幸子 ① プール授業と教材備品について ② 温暖化対策強化について ③ 国民健康保険について ④ ふれあいまつりについて
7日(月)	上野文一 ① 明るい町づくりに必要なあいさつについて ② 防災無線システムについて ③ 上里町の公共交通について
	新井 實 ① 神保原駅周辺の機能整備について ② 防災庁の設置について ③ 大地震発生後の被災対応と対策について ④ クビアカツヤカミギリ駆除対策について ⑤ 「防災道の駅」の設置について
	金子義則 ① 上里町の児童生徒に対する教育支援について ② こども子育て支援について ③ 職員に対するハラスメント対応について
	飯塚賢治 ① 災害発生時について ② R S ウイルス感染症について ③ 文部科学省からの通知について
8日(火)	石井慎也 ① 熱中症対策について ② 地域通貨について ③ 予算の優先度について
	赤沼泰成 ① 通学路整備について ② 小中学校の避難訓練について ③ 高齢者を狙った特殊詐欺対策について ④ 観光資源の創出について
	猪岡 壽 ① 八町河原地区の下水処理場跡地の有効活用について ② 旧老人センターの早期解体と跡地売却について ③ 「クビアカツヤカミギリ」の食害を受けている桜の木について